5-1　未来塾対応ＷＧ

1. 未来塾対応 WG の概要

(1)WG の活動目的

未来塾は、国交省と協会がフリーな意見交換を行う場としてスタートしたが、近年は、各地方ブッロクの意見交換会における「要望と提案」内容の調整や様々な制度設計に関する課題解決に向けた協議の場となっている。

さらに、国交省において建設生産・管理システムの上流段階となる業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する議論の場となる「業務マネジメント部会」への対応を行っている。この部会の審議事項は以下に示す。

① 入札・契約方式について

② 品質の確保・向上について

③ その他、業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する課題

(2) WG の構成（委員）

WG長は常任委員長、副WG長は常任副委員長、その他委員は各主要専門委員会の委員長7名で、総勢9名で構成されている。

2. 主な活動の記録

(1) WG の開催実績

WGは、以下の日程で3回開催した。

(2) 主な検討課題

未来塾では、協会の大きな課題である6つのカテゴリーに対して14のテーマを設定して様々な制度改善に向けた協議を実施した(2テーマは中止）。以下に協議項目を示す。

1.働き方改革：①業務量の平準化、②総合的な残業対策、③計画系業務スケジュール管理表

2.生産性向上：④BIM/CIMの普及・推進、⑤Web 会議の拡大、⑥ASPの活用（中止）、⑦プレキャスト化推進

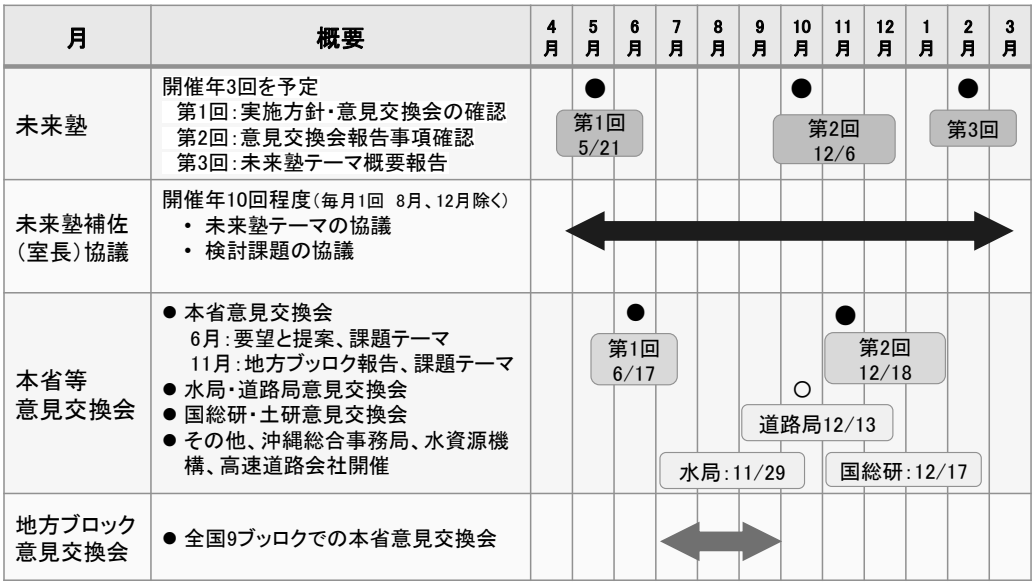
3.設計品質の確保・向上⑧詳細設計での総合的品質確保、⑨BIM/CIMによる品質確保、⑩プロポーザル方式の拡大

4.入契制度改革：⑪標準契約約款の見直し⑫瑕疵賠償請求額の上限設定

5.事業促進PPP、CM等の普及：⑬マネジメント分野の拡大と普及活動

6.災害時対応：⑭災害時対応のシステム化

3. 次年度の活動について

制度設計における重要課題に関して協議を継続していくが、特に、担い手確保・育成、受発注者協働での生産性向上、事業促進 PPP 方式、CM 等の普及、PP 拡大、施工計画成果レベルの明確化、災害対応のシステム化については主要テーマとして課題改善に向けた協議を推進していく予定。

（未来塾ＷＧＷＧ長　松田　寛志）